

Ⅱ－１．岩美町公共下水道事業変更計画書

(大 谷 処 理 区)

公共下水道管理者 岩 美 町 長
工事着手の予定年月日 平成 3年2月22日

工事完成の予定年月日 平成36年3月31日
令和 9年3月31日

目 次

第 1 表	予定処理区域調書	Ⅱ-1-1
第 3 表	吐口調書	Ⅱ-1-2
第 4 表	管渠調書	Ⅱ-1-2
第 5 表	処理施設調書	Ⅱ-1-3
第 6 表	ポンプ施設調書	Ⅱ-1-4
第 7 表	貯留施設調書	Ⅱ-1-4

(第1表の1)

予 定 処 理 区 域 調 書 (汚 水)			
予定処理区域の面積	約 123 ヘクタール	予定処理区域内の地名	鳥取県岩美町 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」
処理区の名 称	面 積 (単位 ヘクタール)	摘 要	
大 谷 処 理 区	123		

(第1表の2)

予 定 排 水 区 域 調 書 (雨 水)			
予定処理区域の面積	約 85 ヘクタール	予定処理区域内の地名	鳥取県岩美町 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」
排水区の名 称	面 積 (単位 ヘクタール)	摘 要	
大 谷 排 水 区	85		

(第3表)

吐 口 調 書 (汚 水)							
処理区 の名称	主要な吐口 の種 類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐口 の位 置	計 画 放流量	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
大 谷	処理施設	大谷浄化 センター 放流管渠	岩美町大字大谷 字東町田浜	0.017 0.016 m ³ /秒	2級河川 蒲生川	— (LWL設定なし)	HWL TP+ 0.91

(第4表)

管 渠 調 書 (汚 水)				
処理区 の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所 の数	摘 要
大谷処処理区	○ 75～300	3,760	3	方法：マンホール内からの 管内目視若しくは管口テ レビカメラを用いる。 点検頻度：5年に1回以上。
合 計		3,760	3	

(第5表)

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位 置	敷地面積 (単位 ヘクタール)	計画放流水質	処 理 方 法	処 理 能 力		計画処理人口	摘 要
					晴 天 日最大 (単位 立方メートル)	雨 天 日最大 (単位 立方メートル)		
大谷浄化センター	岩美町大字大谷字東町田浜	0.8	BOD 15mg/l	オキシゲーション ディッチ	2,330	—	3,200 3,100	計画汚水量 (日最大) 1,450 1,410m ³ /日
終 末 処 理 場 等 の 敷 地 内 の 主 要 な 施 設								
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個 数	構 造		能 力		摘 要	
大 谷 浄 化 セ ン タ ー	前 処 理 棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り		スクリーンユニット			
	主 ポ ン プ	3 台	水中汚水ポンプ		約3m ³ /分		3 / 3	
	オキシゲーションディッチ	2 池	鉄筋コンクリート造り		滞留時間 約24時間		2 / 2	
	最 終 沈 殿 池	2 池	鉄筋コンクリート造り		水面積負荷 約 8m ³ /m ² /日		2 / 2	
	塩 素 混 和 池	1 池	鉄筋コンクリート造り		接触時間 約15分		1 / 1	
	汚泥貯留タンク	2 槽	鉄筋コンクリート造り		貯留容量 約96m ³		1 / 1	
	汚泥脱水施設	1 台	機械脱水機		計画汚泥量約250kg/日		1 / 1	
	用 水 処 理 施 設	1 式						
	電 気 設 備	1 式			受変電設備、 自家発設備			
	管 理 本 館	1 棟	鉄筋コンクリート造り		管理室、電気室、 発電機室、車庫			
放 流 渠	10m	遠心力鉄筋コンクリート管		時間最大放流量 約0.03m ³ /秒				

(第6表)

ポンプ施設調書						
ポンプ施設 の名称	処理区 の名称	ポンプ施 設の位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位立方メートル)		摘 要
				晴天時最大	雨天時最大	
該 当 な し						
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設 の 名 称	主要な施設 の 名 称	数	構 造	能 力	摘 要	
該 当 な し						

(第7表)

貯留施設調書				
処理区の名 称	主要な貯留施設 の 名 称	主要な貯留施設 の 位 置	貯留能力 (単位立方メートル)	摘 要
該 当 な し				

Ⅱ－２．岩美町公共下水道事業変更計画書

(浦 富 処 理 区)

公共下水道管理者 岩 美 町 長
工事着手の予定年月日 平成 3 年 2 月 22 日

工事完成の予定年月日 平成 36 年 3 月 31 日
令和 9 年 3 月 31 日

目 次

第1表	予定処理区域調書	Ⅱ-2-1
第3表	吐口調書	Ⅱ-2-2
第4表	管渠調書	Ⅱ-2-2
第5表	処理施設調書	Ⅱ-2-3
第6表	ポンプ施設調書	Ⅱ-2-4
第7表	貯留施設調書	Ⅱ-2-4

(第1表)

予 定 処 理 区 域 調 書 (汚 水)			
予定処理区域の面積	約 211 ヘクタール	予定処理区 域内の地名	鳥取県岩美町 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」
処理区 の 名 称	面 積 (単位 ヘクタール)	摘 要	
浦 富 処 理 区	211		

(第3表)

吐 口 調 書 (汚 水)							
処理区 の名称	主要な吐口 の種 類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐口 の 位 置	計 画 放流量	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
浦富	処理施設	浦富浄化 センター 放流管渠	岩美町大字浦富 字西虎ヶ池	0.029 0.028 m ³ /秒	2級河川 吉田川	— (LWL設定なし)	HWL TP+ 2.54

(第4表)

管 渠 調 書 (汚 水)				
処理区 の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所 の数	摘 要
浦富処理区	○ 150～500	8,730	4	方法：マンホール内からの 管内目視若しくは管口テ レビカメラを用いる。 点検頻度：5年に1回以上。
合 計		8,730	4	

(第5表)

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位 置	敷地面積 (単位 ヘクタール)	計画放流水質	処 理 方法	処理能力		計画処理人口	摘 要
					晴天 日最大 (単位 立方メートル)	雨天 日最大 (単位立 方メートル)		
浦富浄化センター	岩美町 大字牧谷 字米山	0.93	BOD 15mg/l	オゾンデ ーションデ ィッチ	3,400	—	5,300 5,100	計画汚水量 (日最大) 2,510 2,430m ³ /日
終末処理場等の敷地内の主要な施設								
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個 数	構 造		能 力		摘 要	
浦 富 浄 化 セ ン タ ー	オゾンデーションディッチ	2池	鉄筋コンクリート造り		滞留時間 約 24 時間		2/2	
	最終沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造り		水面積負荷 約 8 m ³ /m ² /日		2/2	
	紫外線消毒タンク	1池			接触時間 約 6 秒		1/1	
	汚泥貯留タンク	1槽	鉄筋コンクリート造り		貯留容量 約 110 m ³		1/1	
	汚泥脱水設備	1台	スクリーブレス型脱水機		計画汚泥量約 260 kg/日		1/1	
	脱臭設備	1床	土壌脱臭床		脱臭面積 約 32 m ²		1/1	
	電気設備	1式			受変電設備			
	管理本館	1棟	鉄筋コンクリート造り		電気室、操作室、 水質検査室			
	機 械 棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		前処理施設、 汚泥貯留槽、 汚泥ポンプ室、ブロア室、 用水設備、 紫外線消毒タンク			
	汚 泥 棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		汚泥脱水設備			
放 流 渠	530m	遠心力 鉄筋コンクリート管		時間最大放流量 0.06 約 0.05 m ³ /秒				

(第6表)

ポンプ施設調書						
ポンプ施設 の名称	処理区 の名称	ポンプ施 設の位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位立方メートル)		摘 要
				晴天時最大	雨天時最大	
該 当 な し						
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設 の 名 称	主要な施設 の 名 称	数	構 造	能 力	摘 要	
該 当 な し						

(第7表)

貯留施設調書				
処理区の名 称	主要な貯留施設 の 名 称	主要な貯留施設 の 位 置	貯留能力 (単位立方メートル)	摘 要
該 当 な し				